

第 12 回マーチング&バトンステージ・イン・オカヤマ 審査規定 ～マーチングバンドの音節～

1. 審査・講評内容

(1) 演奏技術

①ピッチ・音程・音色・和音	<ul style="list-style-type: none"> ・チューニングされた響きの良い音 ・音程の正しい旋律 ・適切なピッチの打楽器 ・それぞれの楽器の特性のある音 ・純正調による美しい適切なバランスの和音
②リズム	<ul style="list-style-type: none"> ・整然とそろったリズム ・統一されたアーティキュレーション
③打楽器の奏法	<ul style="list-style-type: none"> ・統一感のある奏法 ・管楽器とのバランスを考えた奏法 ・基礎の技術

(2) 演奏表現

①音楽表現の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・統一感のあるテンポとテンポ変化 ・統一感のある音量と音量の変化 ・効果的なアゴーギグや歌い方
②バランス	<ul style="list-style-type: none"> ・各声部の効果的なバランス ・打楽器と管楽器の適切なバランス
③アンサンブル	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽表現に関する統一感 ・テンポに関する統一感

(3) 動きと全体的効果

①音楽と動きの調和 その表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・作品、音楽を理解した身体表現 ・視覚と聴覚の一体性 ・観客への作品アピールやショーマンシップ
②姿勢とボディーワークの 統一	<ul style="list-style-type: none"> ・統一感のある基本姿勢と動作 ・楽器ごとの構え方や基本動作
③ポジションワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・図形を理解したポジションワーク

審査担当者と観点、持ち点

山崎 浩 先生 審査委員長

篠原 修 先生 演奏技術・演奏表現 動きと全体的効果

鈴木 夕貴 先生 演奏技術・演奏表現 動きと全体的効果

審査員は各担当の観点の項目についてA～Eの5段階評価で審査する。

※平成 29 年度より得点化を行わない。

2. Div1 の審査

- (1) タイムオーバーによる失格はないが、大会運営に協力すること。
- (2) 各内容の5つの観点についてA～Eの5段階評価をする。
- (3) 金賞、銀賞、銅賞については全ての演技終了後、審査委員会にて決定する。
- (4) 同一カテゴリーで3団体以上のエントリーがあった場合もっとも優秀な1団体に審査員特別賞を授与する

3. Div2 の審査

- (1) タイムオーバーによる失格はないが、申告時間を遵守すること。
- (2) 審査方法は、Div1 に準ずる。
- (3) 同一カテゴリーに3団体以上のエントリーがあった場合もっとも観客を魅了したと判断された 1 団体にフェスティバル賞を授与する。

※すべての部門でICレコーダ審査を行う。